

## 資金分配団体の採択事業数・団体毎の助成総額一覧

2020年10月12日現在 JANPIA作成

資金分配団体名	19年度通常枠	20年度緊急支援枠	20年度通常枠	採択事業数	団体毎の助成総額(円)
<b>3事業採択&lt;3団体&gt;</b>					
1 公益財団法人パブリックリソース財団	草(全)/SB	—	イノベ	3	570,978,085
2 一般社団法人全国食支援活動協力会	イノベ	緊急	イノベ	3	298,390,200
コンソーシアム					
3 特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター	草(地)	緊急	草(地)	3	306,550,480
公益財団法人とっとり県民活動活性化センター	〃	〃	〃	3	(コンソ)
公益財団法人ふるさと島根定住財団	〃	〃	〃	3	(コンソ)
特定非営利活動法人岡山NPOセンター	〃	〃	〃	3	(コンソ)
特定非営利活動法人やまぐち県民ネット21	〃	〃	〃	3	(コンソ)
<b>2事業採択&lt;15団体&gt;</b>					
4 一般財団法人社会変革推進財団	SB	—	イノベ	2	492,996,072
5 特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム	災害	—	災害	2	383,251,510
6 一般財団法人中部圏地域創造ファンド	草(地)	緊急	—	2	258,263,380
7 一般社団法人RCF	災害	—	災害	2	233,007,655
8 公益財団法人ちばのWA地域づくり基金	—	緊急	草(地)	2	185,712,400
9 公益財団法人長野県みらい基金	草(地)	緊急	<コンソ>	2<3>	178,341,467
10 一般社団法人全国コミュニティ財団協会	—	緊急	草(全)	2	173,119,000
11 特定非営利活動法人北海道NPOファンド	—	緊急	草(地)	2	167,681,900
12 特定非営利活動法人全国こども食堂支援センター・むすびえ	—	緊急	草(全)	2	162,187,000
13 一般財団法人ふくしま百年基金	—	緊急	草(地)	2	154,234,500
14 公益財団法人みらいファンド沖縄	草(地)	緊急	—	2	123,942,000
15 社会福祉法人中央共同募金会	草(全)/災害*	—	—	2	91,462,033
コンソーシアム					
16 公益財団法人東近江三方よし基金	—	緊急	草(全)	2	189,250,000
公益財団法人南砺幸せ未来基金	—	—	〃	1	(コンソ)
一般財団法人うんなんこコミュニティ財団	—	—	〃	1	(コンソ)
17 公益財団法人佐賀未来創造基金	草(地)	緊急	—	2	173,389,997
一般財団法人未来基金ながさき	—	〃	—	1	(コンソ)
18 特定非営利活動法人地球と未来の環境基金	—	緊急	草(全)	2	125,896,507
特定非営利活動法人 持続可能な環境共生林業を実現する自伐型林業推進協会	—	〃	〃	2	(コンソ)
ランドブレイン株式会社	—	—	〃	1	(コンソ)
<b>1事業採択&lt;25団体&gt;</b>					
19 READYFOR株式会社	—	緊急	—	1	250,000,000
20 公益財団法人日本国際交流センター	イノベ	—	—	1	247,906,990
21 認定特定非営利活動法人エティック	イノベ	—	—	1	246,496,000
22 公益社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン	—	緊急	—	1	213,205,720
23 公益財団法人信頼資本財団	草(地)	—	—	1	129,250,000
24 一般社団法人北海道総合研究調査会	草(地)	—	—	1	126,547,924
25 公益財団法人オリオンビール奨学財団	—	—	草(地)	1	124,420,000
26 公益財団法人日本対がん協会	草(全)	—	—	1	116,000,000
27 更生保護法人日本更生保護協会	草(全)	—	—	1	115,148,800
28 認定特定非営利活動法人まちぼっと	草(全)	—	—	1	99,649,500
29 一般財団法人大阪府人権協会	—	—	草(地)	1	96,953,740
30 特定非営利活動法人宮崎文化本舗	—	—	草(地)	1	88,702,335
31 特定非営利活動法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク	災害	—	—	1	80,809,360
32 一般財団法人大阪府地域支援人権金融公社	草(地)	—	—	1	76,295,065
33 公益財団法人地域創造基金さなぶり	—	緊急	—	1	71,074,000
34 公益財団法人ブルーシー・アンド・グリーンランド財団	草(全)	—	—	1	69,715,000
35 一般財団法人筑後川コミュニティ財団	—	—	草(地)	1	68,237,600
36 公益財団法人お金をまわそう基金	草(全)	—	—	1	58,886,400
37 公益社団法人日本サードセクター経営者協会	—	緊急	—	1	35,676,570
38 特定非営利活動法人神奈川子ども未来ファンド	—	緊急	—	1	13,266,160
コンソーシアム					
39 公益財団法人九州経済調査協会	—	—	SB	1	246,468,000
一般社団法人ユヌス・ジャパン	—	—	〃	1	(コンソ)
40 一般財団法人リープ共創基金	—	緊急	—	1	200,000,000
認定特定非営利活動法人育て上げネット	—	〃	—	1	(コンソ)
41 公益財団法人原田積善会	—	—	草(全)	1	155,925,000
一般社団法人希望を未来につなぐプロジェクト	—	—	〃	1	(コンソ)
42 認定特定非営利活動法人富士山クラブ	—	—	草(地)	1	123,512,000
公益財団法人長野県みらい基金	<単体:草(地)>	<単体:草(地)>	〃	1<3>	(コンソ)
43 公益財団法人熊本YMCA	—	緊急	—	1	61,085,900
一般財団法人くまもと未来創造基金	—	〃	—	1	(コンソ)

※ 草(全):草の根活動支援(全国)、草(地):草の根活動支援(地域)、イノベ:新規企画支援・イノベーション企画支援、SB:ソーシャルビジネス形成支援、災害:災害支援

※ 19年度通常枠・20年度緊急支援枠は契約締結時、20年度通常枠は採択時の情報を参照して作成

●資金分配団体 活動対象地域別事業数と活動自治体

活動対象地域	19年度通常枠 <対象：24事業>	20年度緊急支援枠 <対象：20事業>	20年度通常枠 <対象：20事業>
<b>全国</b>	<b>16</b>	<b>7</b>	<b>8</b>
<b>北海道</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>1</b>
北海道	○	○	○
<b>東北</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
青森	—	—	—
岩手	—	○	—
宮城	—	○	—
秋田	—	—	—
山形	—	—	—
福島	—	○	○
<b>関東</b>	<b>0</b>	<b>2</b>	<b>2</b>
茨城	—	—	—
栃木	—	—	—
群馬	—	—	—
埼玉	—	—	—
千葉	—	○	○
神奈川	—	○	—
東京	—	—	—
山梨	—	—	○
<b>北陸</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>2</b>
新潟	—	○	○
福井	—	○	○
石川	—	○	○
富山	—	○	○
<b>東海</b>	<b>2</b>	<b>2</b>	<b>1</b>
愛知	○	○	—
静岡	○	○	—
岐阜	○	○	—
三重	○	○	—
長野	○	○	○
<b>近畿</b>	<b>2</b>	<b>1</b>	<b>2</b>
滋賀	○	○	—
京都	○	—	—
大阪	○	—	○
兵庫	○	—	—
奈良	○	—	—
和歌山	○	—	—
<b>中国</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>4</b>
鳥取	○	○	○
島根	○	○	○
岡山	○	○	○
広島	○	○	○
山口	○	○	○
<b>四国</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>1</b>
徳島	—	○	○
香川	—	○	○
愛媛	—	○	○
高知	—	○	○
<b>九州</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>
福岡	—	—	○
佐賀	○	○	○
長崎	—	○	○
熊本	—	○	○
大分	—	—	○
宮崎	—	—	○
鹿児島	—	—	○
<b>沖縄</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>2</b>
沖縄	○	○	○

●資金分配団体が掲げる「優先的に解決すべき社会の諸課題」

2020年10月9日現在

優先的に解決すべき社会の諸課題	19年度事業 (24事業)	20年度緊急 支援枠	20年度通常枠 (20事業)
1) 子ども及び若者の支援に係る活動			
① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援	17	17	13
② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援	16	14	13
③ 社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援	6	6	11
2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動			
④ 働くことが困難な人への支援	10	9	10
⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援	14	13	13
3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動			
⑥ 地域の働く場づくりの支援	9	8	12
⑦ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援	14	8	14

※各事業で対象とする社会課題は複数あり

※19年度・20年度緊急助成枠は契約締結時の事業概要、20年度通常枠は申請時の事業概要を参照して作成

●左表の補足

※1事業で公募が複数地域にまたがる場合はそれぞれの地域でカウントしている。

※19年度・20年度緊急助成枠は契約締結時の事業概要、20年度通常枠は申請時の事業概要を参照して作成